

## 「都市対抗 世界子ども将棋団体戦(仮称)」基本計画

### はじめに

本会、NPO法人「将棋を世界に広める会」ISPSは、およそ30年の長きにわたり、将棋の海外普及に取り組んでおります。発足当時、日本人のほかには、海外ではほとんど指されていなかった将棋も、現在、50ヶ国の選手を集めた世界大会が実施できるまでに、普及が進んで参りました。我々、ISPSの活動もその一端を担うことができたのではないかと、自負するところです。

現在、本会は理事16名、会員135名を有し、更には、青野照市九段、小林健二九段を顧問に迎え、一層の厚みを加えております。日本将棋連盟からの信頼も厚く、連盟が開催する数々の国際大会や将棋普及の催しには、多く協力が求められ、また、数々の実績を残して参りました。

現在の状況を踏まえますと、ISPSとしましては、世界各地に、<日本に「将棋」が有ること知らせる。面白さを伝える。愛好家を増やす>という「普及」の段階から一歩進め、全世界いたるところに将棋の「定着」を図る段階に達した、と判断いたしております。

世界に将棋の定着を図るには、世界各地の子ども達へ目を向けていくことが、必要不可欠だと思われまふ。多くの子ども達が将棋に接し、将棋に魅了され、生活や人生の一部に資する時、更には、その子どもたちが成長し、多くの子ども達に将棋の素晴らしさを伝えようとする時に至って、「将棋」がその地に根付いた、「定着」したと判断しようと思ひます。

それには、世界各地にあります「日本将棋連盟 海外支部」の方々、世界各地に住まう将棋を愛好する方々のお力を借りるより他はありません。子どもへの普及に目を向けて頂き、地域に根差した後継者育成の重責を担って頂きたく存じます。ISPSとしましては、その方々への支援のツールとして、世界規模の子ども将棋団体戦を計画致しました。指導者・子ども双方にとってのモチベーションのアップ、子ども同士の仲間作り、地域に根差したチーム作りへの援助を目指します。同時に、世界の子供達に、日本に育まれた日本文化の神髄を伝え、知的探求心を喚起し、やがては、地球規模の諸問題に対する確かな判断を下せる資質をも育成することを視野に収めます。

以上を目的に、「都市対抗 世界子ども将棋団体戦(仮名)」の創設を画します。趣旨をお汲み取り頂き、取り組みへの参加と協力の程、宜しくお願い申し上げます。

### 大会実施方法

※ 第1回大会は「北東アジア地区」「東南アジア地区」「オセアニア地区」にて実施し、順次、世界に広げて行く。

#### 第1回大会 実施概要

- (1) 大会は3名による、団体戦とする。
- (2) 出場資格は、原則として12歳以下の子どもとし、1名については、15歳以下の子どもが出場も可とする。各チームは、25歳以上の責任者1名を要す。
- (3) 大会は「81道場」と「Zoom」による、オンラインで行う。
- (4) 各都市で1チーム3名による団体戦選を行い、都市ごとに代表チームを決定する。都市代表チームは2チーム以下とする。
- (5) 選出された各都市代表チームにより、地区代表を選出する。選抜方法は、地区のシニアアドバイザーを中心として協議し、地区ごとに決定する。地区代表チーム数は10に定める。
- (6) 地区は「北東アジア地区」「東南アジア地区」「オセアニア地区」とする。
- (7) 「北東アジア地区」は中国・香港・台湾・韓国・北朝鮮・ロシア極東地区、モンゴルとする。
- (8) 「東南アジア地区」は、ベトナム・フィリピン・マレーシア・シンガポール・タイ・カン

- ボジア・ラオス・ミャンマー・インドネシア・東ティモール・ブルネイとする。
- (9) 「オセアニア地区」はオーストラリア・ニュージーランド・メラネシア・ソロモン諸島・ミクロネシアの国々とする。
  - (10) 地区代表チーム数は「北東アジア地区」4チーム、「東南アジア地区」2チーム、「オセアニア地区」2チームとし、決勝大会を行う。
  - (11) 地区代表チーム決定は、地区のシニアアドバイザーを中心として各地区で行う。
  - (12) 決勝大会はトーナメントとし、優勝・準優勝・3位を決定。表彰を行う。
  - (13) 決勝大会は、地区のシニアアドバイザー協力の下、ISPS 理事会主体で行う。
  - (14) できれば第1回大会より、優勝チームを日本に招待したい。(可能ならば、決勝戦を日本で行いたい)
  - (15) 大会名については、今後スポンサー等の関係が確定した段階で決定する。

## ※ 今後の予定

- (1) 「日本将棋連盟 海外支部」並びに関係者各位に趣意書・基本計画を配布し、各日本将棋連盟海外支部等、参加準備を促す。(令和4年・2022年9月下旬)
- (2) **東南アジア各都市代表者会議開催** (令和4年・2022年10月中旬)
- (3) **北東アジア・東南アジア・オセアニア地区都市代表者会議開催**  
(令和4年・2022年11月)
- (4) 日本将棋連盟 海外支部に対し「都市対抗 世界子ども将棋団体戦」実施要項提示  
(令和4年・2023年3月)
- (5) 各地区にて「**第1回 都市対抗 世界子ども将棋団体戦**」予選会開催  
(令和5年・2023年10月までに)
- (6) 「**第1回 都市対抗 世界子ども将棋団体戦**」地区対抗戦開催  
(令和5年・2023年10月までに)
- (7) 「**第1回 都市対抗 世界子ども将棋団体戦**」決勝戦開催  
(令和5年・2023年11月)

- \* 第2回以降、準備の整った地区を加え、順次、全世界大会に近づけて行く。
- \* 令和6年・2024年9月 北米・中南米地区を加え、令和7年・2025年9月 ヨーロッパ・アフリカ地区を加える予定。準備状況に応じ、開催年度が早まる可能性あり。

以上